

豊川市男女共同参画情報紙

No.31

2017年
秋・冬号

手にとって見てくれて、どうもありがとう！

Contents

特集1 おいでん祭アンケート集計結果よりⅠ
「ワーク・ライフ・バランス」
について考えよう! 2

おいでん祭アンケート集計結果よりⅡ
2013年と2017年の結果を
比べてみました 4

特集2 内閣府男女共同参画局
「“おとう飯”始めよう」
キャンペーン 5

講座・講演会開催レポート 6

「女性の活躍促進宣言」をしました! 8



①



②



③



④

写真 ①男女共生セミナー「パパといっしょに★簡単お菓子づくり教室」を開催しました♪

②貴乃花部屋女将の花田景子さんをお迎えし、人権・男女共同参画講演会を開催しました♪

③パートナーシップ推進出前講座を開催しました♪

④エンパワーメント講座「女性のための再就職応援セミナー」を開催しました♪

「ゆい」は、『自立と支え合いの男女共同参画社会』の実現を目指す、あなたとわたしを結ぶコミュニケーション情報紙です。

「ゆい」とは、英語の「あなたとわたし」(You & I : ユイ)と「結ぶ」の結(ユイ)を表しています。

「ワーク・ライフ・バランス」について考えよう!

おいでん祭アンケート集計結果より I

 特集
1

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と生活の調和をいいます。人生の各段階に応じて、仕事や家庭生活、地域活動などが自分の希望するバランスで展開できれば、仕事にも生活にも多くのメリットがあります。そして、自身が充実した人生を送ることや、支え合って活力のある社会を作ることにつながります。あなたのワーク・ライフ・バランスについて、一度考えてみませんか?

◆「おいでん祭」アンケート調査

目的 ●「豊川市男女共同参画基本計画」(平成28年3月改定)の一層の推進を図るため、市民のみなさんの男女共同参画意識や実態を把握する目的で実施しました。

実施日 ●平成29年5月27日(土)・28日(日) 回答者 ●400名

●回答者内訳

(単位:人)

性別\年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
女性	11	14	67	51	40	66	60	309
男性	3	5	9	22	12	17	23	91
計	14	19	76	73	52	83	83	400

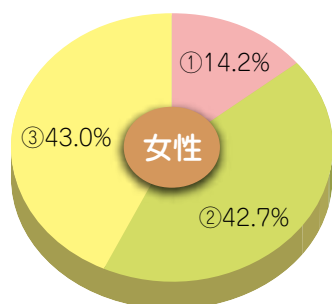


▲おいでん祭でのPRコーナー

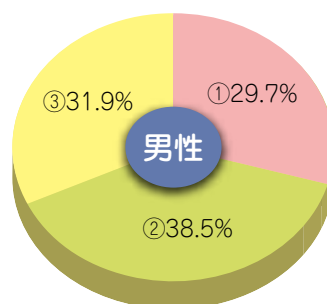
※回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

Q1 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度知っていましたか?

A1



- ① 言葉も内容も知っていた
- ② 言葉は聞いたことがあったが、内容までは知らなかった
- ③ 言葉も内容も知らなかった

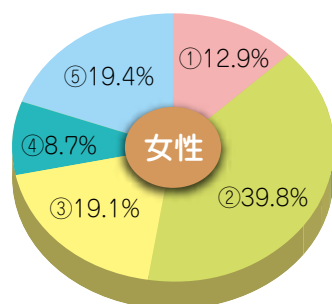


言葉を知っていると回答した人の割合は、女性56.9%、男性68.2%で、男性の方が多い結果となりました。

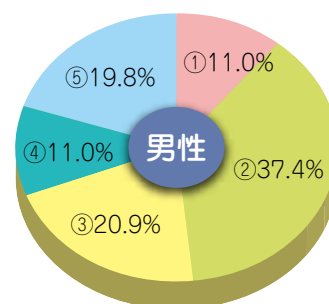


Q2 現在あなたの生活は希望どおりのワーク・ライフ・バランスが実現できていると思いますか?

A2



- ① できている
- ② どちらかといえばできている
- ③ どちらかといえばできていない
- ④ できていない
- ⑤ わからない



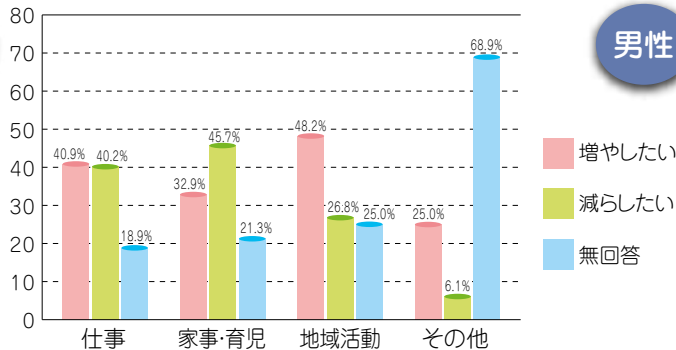
「できている」または「どちらかといえばできている」と回答した人は女性52.7%、男性48.4%で、女性の方が若干高いものの、どちらも5割前後でした。年代別では、女性は大きな差異がみられませんでした。男性は40代で「どちらかといえばできていない」「できていない」と回答した方の割合が、他の年代と比べて高くなりました。

Q3 現在のあなたの生活を、どのように変えたいですか？

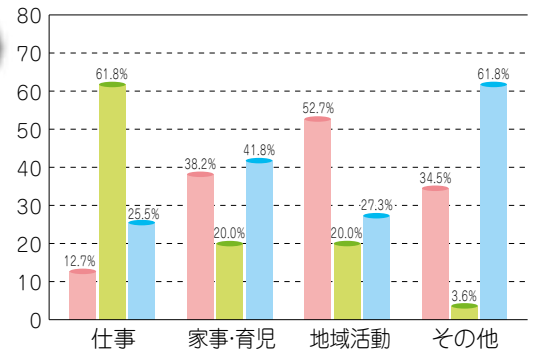
A3

①仕事の時間 ②家事・育児の時間 ③地域活動の時間 ④その他の時間のうち、増やしたい時間、減らしたい時間を教えてください。

女性



男性



年代別やその他の内訳は…

- 30代で「仕事の時間を**増やしたい**」、「家事・育児の時間を**減らしたい**」という意見が多くありましたが、40代では、「仕事」と「家事・育児」について、増やしたい人、減らしたい人がそれぞれ半々でした。
- その他の内訳の多くは、「趣味」「自分」「勉強」「子どもとふれあう」「運動」「ぼんやりする」「テレビ」の時間を増やしたい、でした。

年代別やその他の内訳は…

- 「仕事の時間を**減らしたい**」(30～40代)、「家事・育児の時間を**増やしたい**」(30～40代)、「地域活動の時間を**増やしたい**」(60～70代)という意見が多くありました。
- その他の内訳の多くは、「趣味」「家族」「自分」の時間を増やしたい、でした。

Q4 自身の望むワーク・ライフ・バランスの実現のために、必要なこと(もの)は何だと思いませんか？

A4

女性

- 10代 勉強、元気、仕事の時間を減らす
- 20代 子育ての助成、家族の協力、気持ちの余裕、有給休暇を使える職場環境
- 30代 仕事を始める／増やす、定時に帰る、時間とお金、子育て支援、夫・家族の協力、上手な時間配分、心と体の健康
- 40代 仕事の時間を増やす／減らす、安定した収入、家族の協力、心のゆとり
- 50代 労働時間・残業を減らす、給料、家族の協力、計画・実行(時間を有効に使う)、心と体の健康
- 60代 働く場所、家族の協力、生きがい、ゆとり、健康
- 70代 働く場所、地域のつながり、体力、健康

男性

- 10代 楽しく過ごす
- 20代 残業を減らす、自己啓発、睡眠時間、気持ちのゆとり
- 30代 仕事の時間を減らす、会社の理解、夫婦の助け合い、仕事と休息のメリハリ、家事・育児を積極的に行う、休日
- 40代 労働時間・残業を減らす、家族を大切にすること、「ワーク・ライフ・バランス」を周囲にもっと知ってもらう
- 50代 仕事の時間を減らす、割り切る
- 60代 仕事を持つ、仕事の年齢制限の廃止、友達、地域とのつながり
- 70代 仕事を持つ、運動

Q5 「ワーク・ライフ・バランス」について、ひとことお願いします！

A5

- 大切だと思う。(10代男性)
- 少子高齢化社会だからこそ、考えていかないと。(20代女性)
- 一生のテーマ。実現したい。もっと認知されるといいと思う。(30代女性、男性)
- もっと知りたい、知ってもらいたい。(40代、50代女性)
- 考えてみるだけでも、生活に変化があるかも。(50代女性)

集計を終えて

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を初めて知った方も多く、この機会に自身のバランスについて考え、率直かつ真剣にお答えいただきました。ありがとうございました。

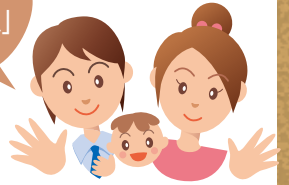
このアンケート、同じ内容で2013年にも実施しています。2013年と2017年の結果を次のページで比較してみます！

おいでん祭アンケート集計結果よりⅡ

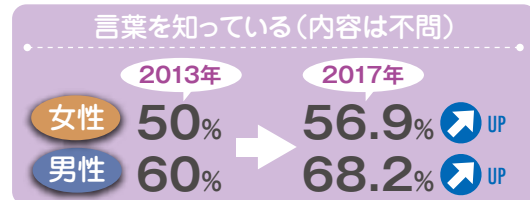
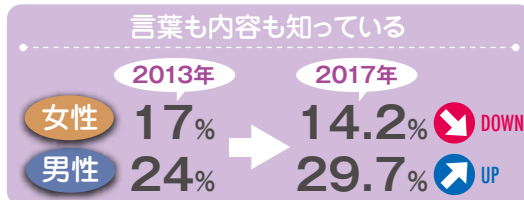
2013年と2017年の結果を比べてみました (Q1 ~ Q3)

アンケート

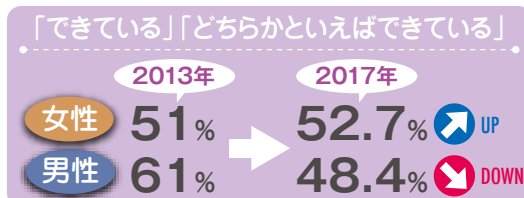
「ワーク・ライフ・バランス」について、考えよう!



Q1 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度知っていましたか?



Q2 現在あなたの生活は希望どおりのワーク・ライフ・バランスが実現できていると思いますか?



女性でわずかに上昇したのに対し、男性は約13%下降しました。40代男性で「できていない」「どちらかといえばできていない」と回答した方の割合が約55%と、高かったことが主な要因です。

Q3 現在のあなたの生活を、どのように変えたいですか?

- 女性の「地域活動の時間を増やしたい」、男性の「仕事の時間を減らしたい」という回答が多い傾向は同じでした。中でも、「仕事の時間を減らしたい」と答えた男性の割合は、2013年52%から2017年61.8%と、約10%増えました。



2013年と2017年を比較したところ、「ワーク・ライフ・バランス」の認知度は若干上昇しているものの、広く普及しているとは言えません。また、希望どおり実現することはなかなか難しいようです。まずは、「ワーク・ライフ・バランス」をより多くの皆さんに知っていただくため、豊川市としても今後PRを推進していきます。

仕事と生活の調和を考えることは、自分の人生を見つめ、自分を支えてくれる周囲の人を思いやることです。一人ひとりがその調和を意識し、支え合って活力のある社会を作っていききたいですね。

ご存知ですか?

ご利用を★

連絡先 ● 人権交通防犯課 (☎ 89-2149)

パートナーシップ推進出前講座

市内に事務所等を有する事業所や町内会・市民活動団体などを対象に、専門家を派遣して男女共同参画に関する出前講座を行います。団体の例会や研修などで、お気軽にご利用ください。

啓発ビデオ・DVD等の貸し出し

男女共同参画に関する各種ビデオ・DVD等を希望者へ貸し出しています。個人やグループで鑑賞し、お互いに感想を交換し合ってみてはいかがでしょうか。

展示用パネルの貸し出し

「なぜ男女共同参画社会が求められているのか?」といった内容を、展示用パネルにまとめました。各種イベント等にご利用ください。

ジェンダーチェックリストの提供

あなたの男女共同参画意識は、どの位なのでしょう? 希望者にチェックリストを配布しています。

男女共同参画関係図書貸し出し

豊川市社会福祉会館「ウィズ豊川」3階(電話83-0630)にて、閲覧・貸し出しを行っています。男女共同参画について学びたい方は一読下さい。

特集
2

おとう飯

始めようキャンペーン

2017年6月、内閣府の男女共同参画局が「おとう飯 始めよう」キャンペーンを始めました。

これまで料理をしていない、料理をしたことはあるものの作をやめてしまった男性の、料理参画への第一歩として、簡単で手間をかけず、多少見た目が悪くてもおいしい料理を「おとう飯」と命名。男性の料理へのハードルを下げ、家事に参加する時間を増やすための取り組みです。

「料理なんてできない」「料理は苦手」と思っていた男性の皆さん!簡単でも見栄えが悪くなくても大丈夫☆

内閣府では、イベントや動画配信などを通じて、手軽にできるレシピを紹介しています。ぜひ作ってみてください♪

◆内閣府ホームページより◆

おとう飯の心得

- 一つ、手早く
 - 一つ、簡単に
 - 一つ、リーズナブルな食材で
 - 一つ、家の調味料を使う
 - 一つ、後片付けは最後まで
- おとう飯、
見守ってね、おかあはん

15分で
できる!

「鳥もも肉の旨煮」

・材 料・

- 鳥もも肉……1枚
- にんにくチューブ…3cm
- しょうゆ…大さじ3
- みりん………大さじ4

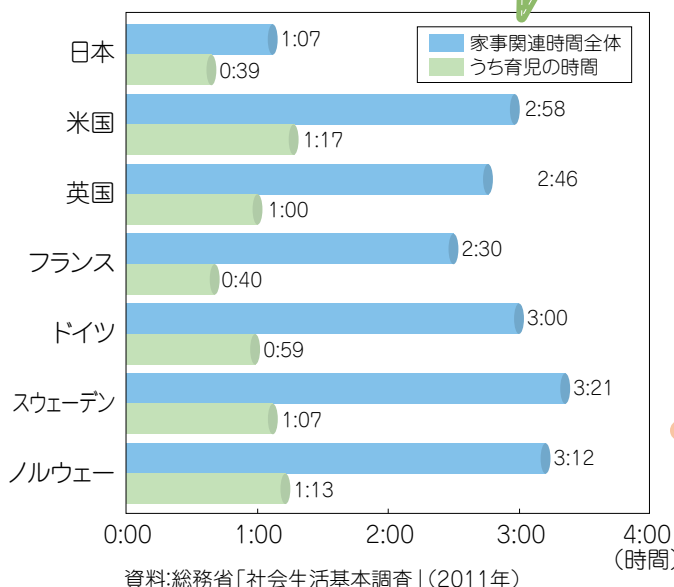
・作 り 方・

- ① 鳥もも肉の皮が付いていない方に、フォークをプスプス刺す。
- ② 皮じゃない方に、にんにくを塗り込む。
- ③ 鳥もも肉がちょうど入るくらいの深めの耐熱容器や耐熱皿にしょうゆとみりんを入れる。
- ④ その上に鳥もも肉を入れて、まんべんなく調味液を付ける。
- ⑤ 鳥もも肉の上にピタッと張り付くようにラップをかける。
- ⑥ 500ワットのレンジで3分、鳥もも肉をひっくり返してさらに3分。
※600ワットなら3分、ひっくり返して2分。
- ⑦ 多少熱をとってから、包丁で1cm幅に切る。



2011年の総務省調査によると、6歳未満の子がいる家庭で、**夫が家事・育児に関わっている時間は、週平均1日あたり1時間7分(妻は7時間41分)**。これは、欧米諸国と比べて短く、先進国の中で最低の水準です。政府は、2020年までに2時間30分に伸ばすことを目標に掲げており、このキャンペーンも、男性の暮らし方や意識を変革しようという取り組みのひとつです。

6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間の
各国比較(1日あたり)



「仕事で帰りが遅いし、
働き方が変わらないと
料理をする時間はないな〜。」

● こんな声も聞かれそうですが… ●

長時間労働が是正されても、必ずしも家事・育児への参加につながるとは限りません。長年の慣習をより良い方向へ変えていくためには、「働き方」改革が進む中で「暮らし方」も見直す、この両輪で考えることが大切です。

これからの「暮らし方」を変えるきっかけとしての「おとう飯」。家族の笑顔と新たな自分の発見のため、挑戦してみたいかがでしょうか。



「料理やっているよ〜」という方は、
料理の魅力に気付く男性が増えるよう、
応援してくださいね♡



講座・講演会開催レポート

豊川市では、「自立と支え合いの男女共同参画社会」を目指して、さまざまな事業を実施しています。市民の皆さんにご参加いただいた、講座・講演会の様子をご紹介します。

人権・男女共同参画講演会

豊川市文化会館大ホール
平成29年3月4日

貴乃花部屋女将の花田景子さんを講師にお迎えし、「女性のチカラの活かし方～母として、妻として、女将として～」と題した講演会を開催しました。

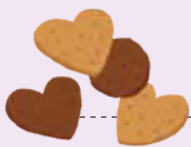
フジテレビの人気アナウンサーから女将へと転身し、ご自身の子育てだけでなく、数多くの力士を支え、多忙な日々の中でも強さと美しさを兼ね備えて輝き続ける花田さん。

ご家族のことや、夫である貴乃花親方と弟子とのコミュニケーションの取り方、悩みを抱えている弟子に女将としてどうアドバイスをしているのかなど、柔らかな口調で話されました。

花田さんが、生活の中で様々な役割を担って奮闘してきた経験談や、まるで大相撲の中継を観ているような臨場感あふれるお話に、客席の皆さんは聞き入り、笑いあり涙ありの感動的な講演会となりました。



平成13年5月場所千秋楽に行われた貴乃花関（現貴乃花親方）と武蔵丸関との取組。自力で歩けないほどの右膝の負傷を抱え、周囲に休場を勧められながらも出場を決意し、見事優勝をおさめた当時の裏話も紹介されました。



男女共生セミナー パパといっしょに★簡単お菓子づくり教室

豊川市勤労福祉会館 平成29年3月19日

台所に立つ機会の少ないお父さんに、お子さんと一緒にクッキングを体験していただこうと、小中学生のお子さんとその保護者を対象として、親子で簡単にできるお菓子づくり教室を実施しました。

親子でエプロンを着て、相談しながら材料を混ぜ合わせたり、にんじんをすりおろしたりと、和気あいあいと取り組んでいました。

お父さんからは、「日頃子どもと料理をする機会はほとんどなく、今回はとても楽しいひとときを過ごせました。」「また家庭でも作ってみたいです。」との感想をいただきました。



◆メニュー◆
♪にんじんとごまのクッキー
♪あずきカステラ
♪いちごヨーグルトスムージー

★料理をしてくれたのは



食育キャラバン隊
チームめだまやき



とよかわボランティア・市民活動センターに登録している栄養士を中心とした食育グループで、年齢に合わせた実践活動劇やクッキング等を行っています。活動を通して、みなさんに食べることの大切さを楽しく分かりやすく伝えています。



エンパワーメント講座 女性のための再就職応援セミナー

豊川市社会福祉会館 平成29年6月23日、30日



▲自分の夢や理想、価値観を語り合う
グループワーク



▲自分の長所に関するうわさ話から、
アピールポイントをみつけよう!

グッドライフ設計塾の菅田芳恵先生を講師にお迎えし、「私らしく働くためのライフプランニング」、「再就職に向けて☆すぐに役立つ知識・スキル・資格」を各回のテーマにお話をさせていただきました。

第1回目は、受講者がそれぞれのワーク・ライフ・バランスを考慮した人生の夢や目標、生活設計を考え、その実現のカギを握るお金や法律の知識(貯蓄・保険・税金など)を学びました。

第2回目は、グループワークを通じて自分の価値観や長所・能力を認識する自己分析を行いました。また、自己PRの効果的な伝え方や、目的に応じた資格の選び方、その資格を収入に結び付ける方法などを学びました。

すぐに実践できる興味深いお話に、受講者は熱心に耳を傾けていました。

参加者の声

- ・ライフプランを立て、家計の収支の流れを把握することの必要性を感じました。
- ・グループワークで自分自身のことを再発見できて、とても良かったです。
- ・長所のアピールは、表現の仕方ひとつで効果的になることが分かりました。



パートナーシップ推進出前講座



セルフディフェンスコミュニケーション開発の青嶋宮央先生を講師にお迎えし、実施しました。

① 表情トレーニング

豊川市シルバー人材センター 平成29年2月22日



笑顔で表情が豊かだと、明るくなり、脳が元気になり、やる気が起きます。また、イライラがなくなり、健康を維持することができ、コミュニケーション力も高まります。

笑い声の絶えない明るい雰囲気の中、表情筋(口元・眉毛・まぶた)のトレーニングや表情を良くする発声練習を行い、受講者の皆さんは目をキラキラさせて参加してみえました。

② お母さんの言葉がけレッスン

豊川市立御油保育園 平成29年6月28日

子どもは、ちょっとした言葉がけで、うんと違う反応を示します。子どもの意欲を引き出し、自立と思いやりを育む言葉がけのコツを学びました。

子どもの自尊感情を育てることの大切さ、褒め方・叱り方、言葉の使い方などに関するお話を聞いた保護者の方々より、「子どもに接する態度を考え直すきっかけになりました。」「今日の講話を思い出しながら、日々過ごそうと思います。」との感想をいただきました。



▲「5人とハイタッチした人から座りましょう」

ハイタッチは、お子さんとのコミュニケーションにも効果的★皆さん自然と笑顔になりました。

「女性の活躍促進宣言」をしました！

「女性の活躍促進宣言」とは、「あいち女性の活躍促進会議」において、平成26年8月29日に採択された「あいち女性の活躍促進行動宣言」の趣旨を踏まえ、企業や団体が女性の活躍に取り組んでいくことを宣言するものです。

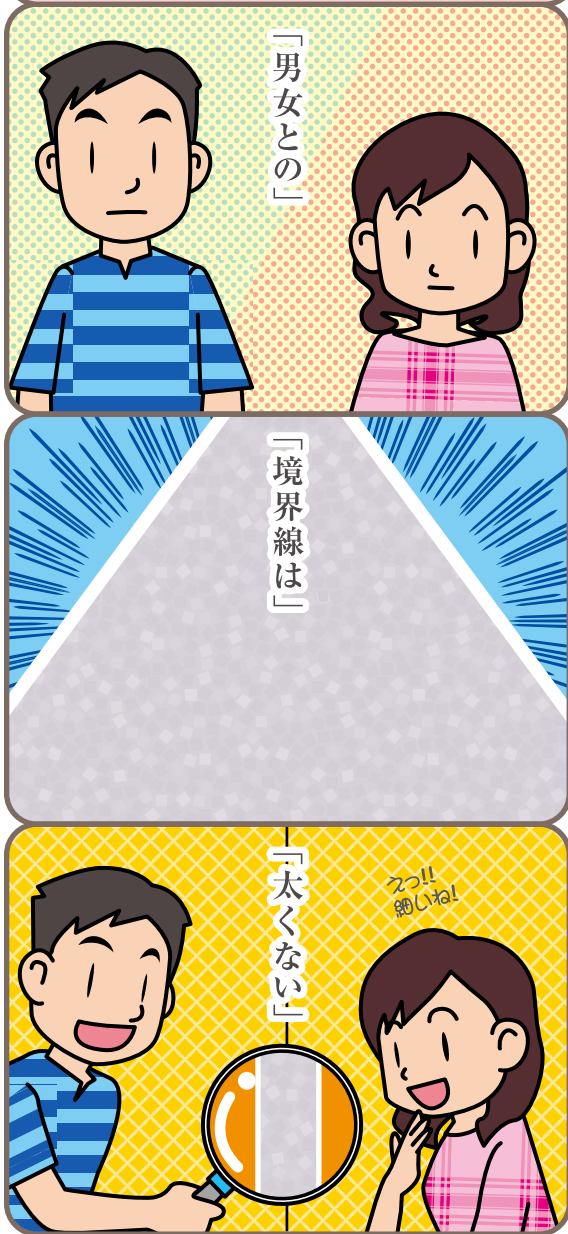
豊川市は、「あいち女性の活躍促進行動宣言」に賛同し、「女性の活躍促進宣言」をしました。女性職員が元気に働き続けることができる職場の実現に向けて以下の取り組みを推進します。

◆宣言内容◆

- 1 女性の採用拡大**
多くの女性が活躍できるよう、入り口となる採用の拡大に取り組めます。
- 2 職域拡大・計画的育成とキャリア形成支援**
女性職員が様々な職場や立場で意欲的に活躍できるよう、職域の拡大や計画的育成、キャリア形成支援に取り組めます。
- 3 継続勤務**
育児、介護等で時間制約の職員が、十分な能力を発揮して働き続けることができるよう、支援に取り組めます。
- 4 女性職員の登用拡大**
性別に関わらない公正な人事評価に基づく成績主義の原則に基づいて取り組みます。
- 5 長時間勤務の是正等の男女双方の働き方改革**
時間に制約のある職員を含む全ての職員が十分な能力を発揮できるよう、これまでの価値観・意識を大きく改革するとともに、職場における仕事の抜本的な改革、働く時間と場所の柔軟化に取り組めます。
- 6 家事・育児や介護をしながら活躍できる職場環境の整備**
男性職員の家庭生活（家事、育児、介護等）への関わりを推進すること、男女を問わず両立支援制度の利用時、育児休業等取得中、育児休業等復帰後の各段階を通じて職員の状況に応じたきめ細かい対応や配慮を行うこと等により、育児や介護等を担う職員が活躍できる職場環境を整備します。

標語3コマまんが

受賞作 『男女との 境界線は 太くない』
愛知県豊川市 伊東 拓海さん



* 豊川市男女共同参画情報紙は、市役所公民館図書館などの公共施設や金融機関等に置いてあります。

快適な住まいを提案します。住まいの快適

水まわり

㈱牧水道工業所 TEL 0533-87-2050
豊川市国府町池田 1 2 番地

THE HOUSE FOR DUAL INCOME FAMILY

CHU!

共に働く今どき夫婦の家

for dual income family

0120-1919-16 株式会社 タツミハウジング

本社 / 〒441-0105 豊川市伊奈町経路 53-116
TEL 0533-78-2411・FAX 0533-78-5635

タツミハウジング 検索